

がれき受け入れ 理解求める考え

伊賀市長の反対表明で

鈴木英敬知事は二十二日の定例記者会見で、伊賀市の岡本栄新市長が震災がれきの受け入れに反対していることについて「丁寧に説明することから始めないといけない」と述べ、理解を

求めていく考えを示した。

鈴木知事は「岩手県久慈市のがれき処理にめどは立っていないが、広域処理の必要性や安全性は一切変わっていない」とし、「これまでの県の取り組みや久慈市の状況を丁寧に説明させていただくことから始めないといけない」と話した。

さらに「僕が会うかは分からないが、県組織として、何らかのお会いしてお話しさせていただく機会は必要」と説明。県が現在、同市の産業廃棄物処理会社「三重中央開発」に焼却灰の最終処分を要請していることから、岡本市長への説明には「県内全体のことを考えているという面もある」とした。